

医療通訳団体等連絡協議会開催要綱

■ 趣 旨

近年、訪日外国人及び在留外国人が増加することが予想される我が国において、これらの方々に対して適切な医療を提供していく必要がある。その中において、医療通訳の果たす役割は今後さらに大きくなることが予想される。そこで、医療通訳に関する団体において、各々が持つ情報を総合的・横断的に共有するため、医師の職能団体である日本医師会において、本協議会を開催する。

■ 主催

公益社団法人日本医師会

■ 日時

2019年1月22日（火） 18：00～19：30

■ 場所

日本医師会小講堂・ホール（3階）

（〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16）

■ 協議事項

1. 厚生労働省による情報提供
2. 代表的な団体または会社からの現状のご発表と情報・課題の共有
3. 医療界との情報共有（日本医師会からの報告）
4. その他必要な情報共有

■ 参加者

公益社団法人日本医師会

厚生労働省医政局総務課

医療通訳関係事業者等（地方公共団体含）

日本医師会 医療通訳団体等連絡協議会 プログラム

日時：2019年1月22日（火）
18:00～19:30

場所：日本医師会館小講堂・ホール

司会：松本 吉郎（日本医師会常任理事）

1. 開会

2. 挨拶

横倉 義武（日本医師会長）
自見 はな子（参議院議員）
迫井 正深（厚生労働省審議官）

3. 厚生労働省からの情報提供

北波 孝 厚生労働省医政局総務課課長

4. 地域医療基盤開発推進研究事業研究班からの情報提供

中田 研 研究代表者

5. 医療通訳関係団体等からの現状の情報・課題の共有

特定非営利活動法人AMD A国際医療情報センター
一般社団法人ジェイ・アイ・ジー・エイチ
日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
株式会社ブリックス／一般社団法人通訳品質評議会
一般社団法人全国医療通訳者協会

6. 日本医師会からの情報提供

松本 吉郎（日本医師会常任理事）

7. その他

8. 総括

今村 聡（日本医師会副会長）

9. 閉会

第1回 訪日外国人旅行者等に対する医療の提供に関する検討会

議事次第

日時:平成 30 年 11 月 14 日(水)

17 時 00 分～19 時 00 分

場所:TKP 赤坂駅カンファレンスセンター

ホール 14A

議題

1. 座長の選出について
2. 本検討会の検討内容について
3. 厚生労働省の取組について
4. 外国人患者の受入拠点となる医療機関の選定について
5. 医療機関向けマニュアル・都道府県向けマニュアルについて

配布資料

資料1 訪日外国人旅行者等に対する医療の提供に関する検討会開催要綱

資料2 本検討会における検討内容(案)

資料3 外国人患者受入体制に関する厚生労働省の取組

資料4 外国人患者の受入拠点となる医療機関の選定

資料5-1 外国人患者の受入環境整備に関する研究(平成 30 年度厚生労働省
政策科学推進研究事業)

資料5-2 医療機関のための外国人患者受入に関するマニュアル構成案

資料5-3 地方自治体のための外国人患者受入に関するマニュアル構成案

※資料5-1～3は、厚生労働科学研究「外国人患者の受入環境整備に関する研究」研究班

提出資料

本検討会における検討内容（案）

① 医療機関の整備方針

都道府県ごとに、重症例を中心に外国人観光客受入の拠点となる医療機関と、観光スポットなどがある地域で軽症例の受入が可能な医療機関を選定

② 医療機関向けマニュアル、都道府県向けマニュアル

訪日外国人に対する基本的対応について整理したマニュアルの整備

③ 自由診療における診療価格

通訳等の附帯サービスの上乗せを含めた、自由診療である外国人観光客向け医療に関する価格の合理的な設定方法

④ 医療通訳者の養成・確保・配置

医療通訳者の養成(例えば技能の認定)・確保・配置の考え方の整理

⑤ 医療通訳・ICT ツールの役割分担

症状や緊急性に応じた通訳とICTツール活用の役割分担や、それぞれの整備方針の整理

⑥ 医療コーディネーター

医療コーディネーターの役割を整理

第1回外国人医療対策会議

東京オリンピック・パラリンピックに向けて
都道府県医師会外国人医療対策
担当理事連絡協議会



2018年7月4日(水) 13時~17時
日本医師会館小講堂・ホール

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 自見はな子参議院議員挨拶
4. 日本医師会からの報告
5. 日本の医療の国際化に向けて (渋谷健司先生)
6. 現場からの報告 (北海道、千葉県、東京都、石川県、愛知県、沖縄県)
7. 国の政策概要について
8. 協議
9. 総括
10. 閉会

日本医師会外国人医療対策委員会について

目的

政府の方針等を踏まえ今後増加することが予想される、訪日外国人旅行者、並びに、在留外国人に対し、適切な医療提供について総合的に検討すること。訪日外国人旅行者に対する医療提供体制と在留外国人に対する医療提供体制のあり方は峻別する必要があるため、ワーキンググループを設ける。

委員会の予定

第1回（2018年度第1回）委員会（10月17日開催済）

- ・ フリートキング（外国人医療に対する論点の抽出）
- ・ ワーキンググループの構成について（訪日外国人WG、在留外国人WG）

第2回（2018年度第2回）委員会（12月6日開催済）

訪日外国人WG

- ・ 国の政策に関する情報
観光庁(保険加入勧奨)・厚生労働省(検討会)
- ・ 中間答申案に向けた課題の抽出

在留外国人WG

- ・ 国の政策に関する情報
総務省(住民基本台帳)・厚生労働省(保険証)
- ・ 在留外国人に対する医療の課題について

- ・ 中間答申に向けた骨子の検討

第3回（2018年度第3回）委員会（2019年2月4日開催予定）

中間答申の取りまとめ

外国人医療対策委員会における検討内容

共通(訪日外国人、在留外国人)

- 日本の医療提供体制の周知
- 地域における医療提供体制の構築
- 保険の加入を奨めること
- 医療機関による多言語対応、外国人医療にかかわる人材の育成
- 感染症対策
- 問診票の様式について

訪日外国人

- 円滑な支払いの支援そして未収金について
- 訴訟リスクについて

在留外国人

- 国民健康保険制度及び保険証について
- 通称と本名について
- 日本の医療保険制度の教育について